

プロフィール

活動地	高知県
氏名	矢野 泰彦
活動名称	障害者の生涯スポーツの支援・普及
PRポイント	「スポーツを通じて知的障害のある人たちを応援する SON・高知の生みの親」
連携している 団体等	特別支援学校、社会福祉法人、企業・事業所、 病院・保健所、その他(高知ライオンズクラブ)



功労者表彰

活動分野
スポーツ
主な対象
知的障害

活動の説明

① 活動内容	<p>知的障害のある方たちへ、生涯スポーツの提供・普及をするためにボウリングを始め、バスケットボール、競泳、陸上競技の部を立ち上げ、スペシャルオリンピックス日本・高知（SON・高知）の設立・運営に尽力しました。今では年間、約90人が参加しています。また、SONの全国大会には、高知県選手団を組織・引率し、4年に一度の大会に連続して参加するなど、知的障害のある方たちの活躍の場を作り上げています。</p> <p>現在でもボウリング部での指導を続けるとともに、2019年度には、福祉総合フェスタ（7月）や、じんけんふれあいフェスタ（12月）に出展するなど、高知県での障害者の生涯スポーツ普及に欠かせない存在です。</p>
②活動の経緯・ 体制	<p>被表彰者の矢野泰彦氏は、2002年に徳島での障害者アスリートを描いた映画「エイブル」を鑑賞後、ダウン症協会の仲間と同映画の上映会を企画。高知市において上映会を実施し、700人以上の県民の参加を実現させました。これを機に、スポーツを通じて知的障害のある方たちが社会参加を果たし、生きがいを持てるよう、ボウリング、バスケットボール、競泳、陸上競技の部を立ち上げるとともに、SON・高知立ち上げ準備会を発足させました。</p> <p>2006年にSON本部から承認を受け、正式にSON・高知が設立。2013年には特定非営利活動法人として認証され、同人は事務局長・会長・理事長を歴任しました。一貫して各運動部の運営に関わるとともに、現在でもボウリング部で指導を続けています。</p>
③活動の効果等	<p>知的障害のある方たちが、それぞれの希望や能力に応じて、種目を選び、指導を受けることにより、スポーツ技術や体力の向上を目指すとともに、他者との交流の場を通じて、社会性の発達や家族や他のアスリートとの絆が強まり、生涯を通じてスポーツを続けることができる環境が提供されるようになりました。</p> <p>また、地域のボランティアの方々が、一般の施設（体育館、プール、ボウリング場等）でコーチやパートナー（一緒にスポーツを楽しむ人）として支えてくれており、地域社会において、知的障害のある人々を理解し受け入れるという体制が構築されました。</p>

活動の様子

	
指導の様子	ボウリングの仲間たち